

ダニやハチ 害虫に注意

松山・和気小「虫の日」体験授業



「虫の日」にちなんだ体験授業で、生きたカイコに触る和気小学校の児童

「虫の日」(6月4日)にちなんで害虫

の予防や駆除の方法を学ぶ授業が3日、松山市太山寺町の和気小学校であり、実物の標本や顕微鏡を使った観察などを通して

1時間ずつ授業した。師となり、学年ごとに示。協会員ら10人が講

を見せたい」と笑顔を見せた。

(坂本敦志)

読もう!



どもたちが知識を深めた。

害虫を駆除する業者でつくる「県ペストコントロール協会」主催。年間で最も害虫や細菌が発生しやすい梅雨時期を選び、2年前から市内の小学校で開いている。

この日は体育館にコーナーを設け、ゴキブリやクモの標本、スズメバチの巣、イタチなどの生き物の刺製を展示。協会員ら10人が講師となり、学年ごとに1時間ずつ授業した。

PC・携帯
動画二コース

1年生約90人が参加した授業では、児童らはダニやハチの標本を手に歓声を上げたり、ペットとして飼育される昆虫と害虫の違いを教わったりした。生きたカイコ400匹を展示したテーブルでは、児童らは恐る恐るカイコを手に乗せ、感觸や動きを楽しんでいた。

山本飛海君(7)と武智研吾君(6)は「虫は大好き。見たことがある虫がいて楽しかった。害虫のことを家族にも教えたい」と笑顔を見せた。